

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社静岡キャリアステーション

25-22-12-107-010

D. データ活用	107表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
表計算ソフト活用	

コースのねらい	表計算ソフトを活用する際、業務効率を向上させるために必要となる定型業務の自動化を実現するためのマクロの作成手法を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程					
				月 日	時刻				
講義内容	1	マクロの基本知識	(1)マクロ記録 PCに開発タブを設定しマクロの記録ができるようにする 絶対参照、相対参照の意味を理解する	1.0	10月22日(水)	9:30~16:30			
			(2)VBAとは エクセルVBAの特徴 本講座のエクセルVBAでの取り扱う内容概要	0.5					
			(3)プログラム開発環境 VBEの起動とマクロとのつながり理解 プロジェクトエクスプローラー、プロパティウィンドウ、コードウィンドウの取り扱いの理解	0.5					
			(4)プログラミング作業の流れ マクロ作成のルール、極簡単なプログラムの作成、 複数マクロの連続実行の体験	0.5					
	2	基本文法	(1)プロシージャ、モジュール VBEでのプログラム保存先の理解、理解しやすい プログラムの作り方、メンテナンスしやすい構成のしかた	1.0			10月23日(木)	(2日間) 昼休憩 12:00~13:00	
			(2)プロパティ、メソッド プロパティ、およびメソッドのできることの理解と実践体験	1.5					
			(3)オブジェクト 操作対象の理解 オブジェクトの階層構造の理解と作成時の注意	1.5					
	3	制御文法	(1)条件分岐処理 条件分岐の解説と実行。IF~Then ステートメント 単条件及び複数の条件での振り分け処理実行体験	2.0					
			(2)繰り返し処理 繰り返し処理の解説 For ステートメント 1段階 及び 2段階の繰り返し処理の解説と実行体験 演習問題で実行	2.5					
			(3)データのコピーや移動(sheetやBook間の移動) 演習を通じて、シート間、BOOK間のデータの移動と、コピー を学ぶ	1.0					
				合計時間			12時間		

カリキュラム作成のポイント

この講座は まずVBAの成功体験からVBAの興味を持ってもらい、各自VBAを作成していただくために、できるだけ実践体験を重視したカリキュラムです。またPCでのプログラム製作時間は少なくして効率よく学ぶように工夫しています。